

高圧ガス施設等津波被害軽減対策事例シート

整理番号 9	実施項目 チェーンの2重掛け・角リング等による容器の流出防止措置	
大項目 浸水・流出対策等	細項目 容器・ローリー・消防設備等の流出防止措置	関連事例 8、10
実施対象施設 高圧ガス容器	実施費用 数十～数十万	実施に要する期間 数日～数週間

津波被害事例等

○津波発生時には津波により高圧ガス容器が流出し、流出した容器からガス漏えいや火災など二次災害を引き起こすばかりではなく、多くの容器が流出すればその回収作業に大きな労力を費やし、復旧活動の支障となることが想定される。

津波対策事例

▼容器の固定措置



◀チェーンの補助として、通路側容器に角リングを掛ける。

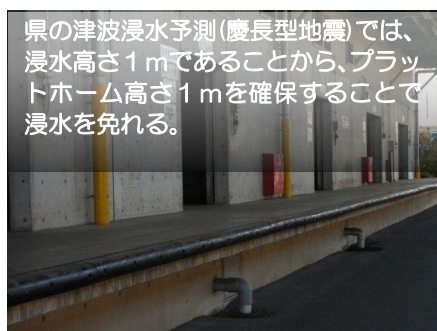
チェーンによる固定は、必ず上下2段で行い出来るだけ弛みを少なくする。



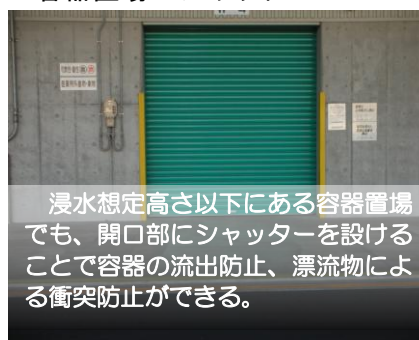
▲コーナー内に隙間がある場合には、寄せた容器をラッシングベルトにより固定する。



▼プラットフォーム嵩上げ



▼容器置場のシャッター



要点

- 津波により流出しないよう容器置場の嵩上げ、シャッターの設置、容器の固定措置など必要な対策をとることにより被害を防止にするとともに、復旧活動への支障が最小限となるよう努める必要がある。
- 容器の固定方法は幾つかある。容器のサイズや個数等に応じて、また必要によりそれらを組合せて固定の方法を決定する必要がある。